

【出題意図】 2026 年度 慶應義塾大学 一般選抜

商学部 世界史

本年度の世界史の一般選抜試験では、商学部における入学者の受入れに関する方針（アドミッションポリシー）4点のうち、特に「(1)社会に対して強い関心を持っている人」「(2)論理的な思考能力が高い人」を重視した。出題された大問3つはいずれも従来の歴史記述の偏りに注意し、経済と関連した人間の営みについての知識や理解を問う問題である。

I.

税のあり方は現在の日本社会で最も活発に議論されている問題のひとつであり、近年の国政においても重要な論点となっている。そこで大問 I では古代から現代までの税制やその変化、問題点を取り上げた。具体的には時代、地域、文化によって課せられる税は多様であること、社会の変動に合わせて税制が変化すること、税の問題によって国家の統治が揺らいだり国家間の対等な関係が損なわれたりする場合があることが理解できているかどうかを問う問題とした。問 1 では税に加えて世界史に関する基本的な知識があるかどうかを選択肢から正解を選ぶ形式で確かめている。問 2 は古代中国で導入された両税法について、名称の由来を通して制度の内容を答えさせる問題である。問 3 はイスラーム初期における地税と人頭税の名称、問 4 はイスラームの理念から外れた形で課税されていた人びとの呼称、問 5 はフランスにおいてアンシャン・レジームを批判した書の著者、問 6 は GATT の後継機関の正式名称をそれぞれ答えさせる問題である。

【解答例】

I

問 1

- 1-2 絹
- 3-4 安史の乱
- 5-6 江南
- 7-8 ダマスクス
- 9-10 ブワイフ
- 11-12 イクター
- 13-14 ティマール
- 15-16 フリードリヒ
- 17-18 印紙
- 19-20 聖職者
- 21-22 貴族

- 23-24 虎門寨追加  
25-26 望厦  
27-28 黄埔  
29-30 ムスタファ・ケマル  
31-32 ローザンヌ  
33-34 蔣介石  
35-36 EFTA  
37-38 MERCOSUR  
39-40 「小さな政府」  
問2 夏の小麦と秋のアワ・米の二つの収穫期に徴税するから  
問3  
    (あ) ハラージュ  
    (い) ジズヤ  
問4 マワーリー／マウラー  
問5 シェイエス  
問6 世界貿易機関／World Trade Organization

## II.

### 【出題意図】

大問IIは従来の歴史記述では等閑視されてきた女性の役割を取り上げた。特に女性の統治者や女性を通じた統治者の血縁・姻戚関係、社会変動の中で悲劇的な死を遂げた女性、近代以降の女性の地位の変化に注目しながら世界史の流れを問う問題とした。近年は、高校の世界史教科書においてもジェンダーや女性に関する記述、またコラムなどが増加している。こうした傾向を踏まえ、本学部の入学者選定方針(1)に沿って、現代の社会や文化に強い関心と問題意識を備えた学生を選抜することが、テーマ選定の理由のひとつである。問1は女性の役割に加えて世界史の基本的な知識を選択肢形式で問う問題である。問2は統治者の婚姻が国政に影響を与えた具体例を問う問題である。問3から問7にかけては歴史上で活躍した女性の名前や、国家間の衝突や勢力争いに関する地名や国名を答えさせる問題である。

### 【解答例】

#### 問1

- 41-42 写実
- 43-44 フェイディアス
- 45-46 リトアニア
- 47-48 カルマル
- 49-50 ナスル
- 51-52 高宗
- 53-54 救貧法
- 55-56 オランダ
- 57-58 第2回選挙法改正
- 59-60 カナダ
- 61-62 プガチョフ
- 63-64 オルレアン
- 65-66 ハーヴェー
- 67-68 ヴァレンヌ
- 69-70 ローザ・ルクセンブルク
- 71-72 ピカソ
- 73-74 ニュージーランド
- 75-76 1934
- 77-78 白色革命
- 79-80 インディラ・ガンディー
- 81-82 マララ・ユスフザイ

- 問2 ギリシア正教を国教とした
- 問3 リリウオカラニ
- 問4 プロイセン (王国)
- 問5 (オランプ・ド・) グージュ
- 問6 フランス
- 問7 フォークランド／マルビナス

### III.

#### 【出題意図】

大問IIIは商学や経済学を学ぶ際に必須となる財の問題を取り上げた。財を蓄積する方法、農地や奴隷・農奴を含む耕作者の役割、富の収奪のためのさまざまな制度、綿花栽培と技術の発展、戦争の影響、制度が変化してもなお続く不公正な社会のしくみを通して、財にまつわるさまざまな問題を理解している学生を本学部に迎えたいという意図がある。

問1は財のあり方や獲得方法に加えて世界史の基本的な知識を選択肢形式で問う問題である。問2は綿製品と綿花の貿易におけるインドの役割の変化に関する問題であり、特定の地域が世界の中で果たす役割は決して固定されていないことを理解しているかが問われる。

問3はドイツや東欧の農業に関連する事件や制度の名称を答えさせる問題である。問4はアメリカ合衆国における綿花生産の州ごとの割合の変化を示したグラフを提示し、地図で示された4つの州の中から選んで解答させる問題である。これは実際の知識として知ってなくても、その州がグラフの中に現れた時期がそれぞれ異なっていること、アメリカ合衆国の領土が東から西へと拡大していったことが分かれば解ける問題であり、世界史の知識に加えて受験生の論理的な思考力を問う問題でもある。問5は交易品が時には交易の対価として使用されることを理解しているかどうかを問う問題である。

#### 【解答例】

##### 問1

83-84 700万

85-86 1万

87-88 北魏

89-90 ヘイロータイ

91-92 ラティフンディア

93-94 コロヌス

95-96 バルト海

97-98 エンコミエンダ

99-100 アシエンダ

101-102 タバコ

103-104 綿繰り機

105-106 紡績機

107-108 力織機

109-110 蒸気機関

111-112 1807

113-114 1861

115-116 ムハンマド・アリー

117-118 シェアクロッパー

問2 インド

問3

(イ) ドイツ農民戦争

(ロ) グーツヘルシャフト

問4

(A) テキサス

(B) ルイジアナ

(C) テネシー

(D) サウス・カロライナ

問5 奴隷貿易の対価となった